

(2) 就業環境

1日のうちの大半を過ごす場所における喫煙環境によって喫煙行動や、ニコチンへの依存度に差がでるといふ仮説のもと、就業環境に着眼した。調査票においては、「内勤」「外勤」を軸に「会社員」「公務員」「自営業」などを選択肢とした。調査結果における「その他」に該当するもののうち、「内勤」に該当することが明らかな職業については、12番目のカテゴリとして「自営業以外の内勤」としてまとめた。

この結果、「会社員（内勤中心）」が36.2%で最も高い割合となった。次いで「会社員（外勤中心）」が16.6%、「専業主婦」が9.8%、「公務員・団体職員（内勤中心）」が6.4%、「自営・自由業（内勤・在宅中心）」が6.3%、「パート・フリーター」と「無職」がそれぞれ6.2%、「自営・自由業（外勤中心）」が5.0%、「公務員・団体職員（外勤中心）」が1.0%であった。

図表4-3-40 職業（単数回答 N=2,105）

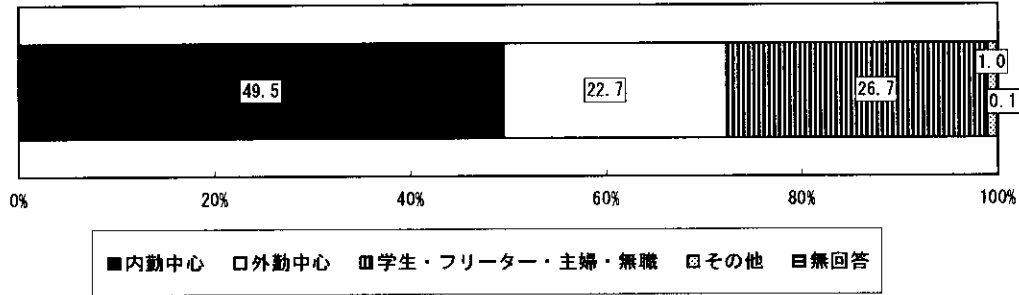
選択肢	実数	全体 %
会社員（内勤中心）	763	36.2
会社員（外勤中心）	350	16.6
公務員・団体職員（内勤中心）	134	6.4
公務員・団体職員（外勤中心）	22	1.0
自営・自由業（内勤・在宅中心）	133	6.3
自営・自由業（外勤中心）	106	5.0
学生	94	4.5
パート、フリーター	131	6.2
専業主婦	207	9.8
無職	130	6.2
その他	20	1.0
自営業以外の内勤	13	0.6
無回答	2	0.1
合計	2,105	100.0

これらの結果を受けて、分析のために「その他」を除く11の選択肢を「内勤中心」「外勤中心」「学生・フリーター・主婦・無職」にカテゴリー化した。なお、「内勤中心」とは、主にオフィスワーク、工場内勤務、勤務医、内勤中心の自営業などを含み、外勤中心は営業職、建築作業員、外交員などを含む。

また、1日のほとんどの時間を拘束されているフルタイムの勤労者に対し、比較的喫煙環境に融通のきく層として「学生・フリーター・主婦・無職」をカテゴリー化した。

この結果、全体では「内勤中心」の就業環境にある回答者が49.5%で約半数を占めた。「外勤中心」の回答者は22.7%、「学生・フリーター・主婦・無職」が26.7%となった。なお、「自営業以外の内勤」は「内勤中心」に含めた。

図表4-3-41 就業環境（単数回答 N=2,105）



	合計	内勤中心	外勤中心	学生・フリーター・主婦・無職	その他	無回答
回答数	2,105	1,043	478	562	20	2
割合	100.0	49.5	22.7	26.7	1.0	0.1

<男女年齢別>

就業環境を男女年齢別にみると、まず、「男性40歳未満」では「内勤中心」が50.0%と最も回答割合が高く、次いで「外勤中心」の33.8%になっており、全体と異なる傾向を示した。「学生・フリーター・主婦・無職」は15.4%にとどまった。「男性40歳以上」でも、「内勤中心」が62.2%で最も多く、次いで「外勤中心」が23.3%となり、「男性40歳未満」と同様の傾向となった。

一方、女性においては、「学生・フリーター・主婦・無職」の割合が、40歳未満、40歳以上とも最も高く、かつ統計的に多い。「女性40歳未満」では74.3%、「女性40歳以上」では75.6%で約4分の3の割合となった。「内勤中心」は20%程度、「外勤中心」はいずれの世代においても3%程度で、男性と傾向が異なっている。

図表4-3-42 男女年齢別 就業環境（単数回答 N=2,105）

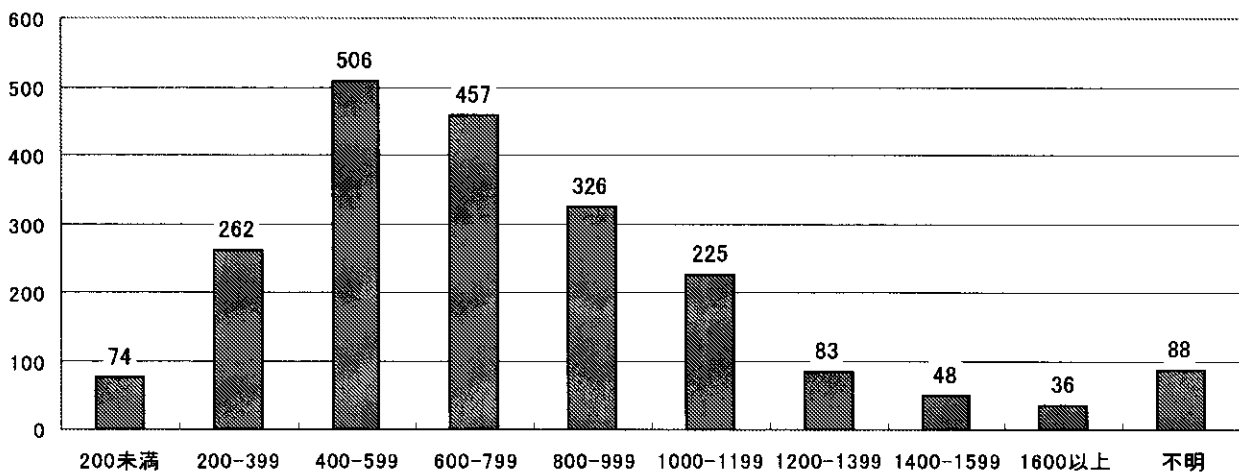
	合計	内勤中心	外勤中心	学生・フリーター・主婦・無職	その他	無回答
全体	2,105 100.0	1,043 49.5	478 22.7	562 26.7	20 1.0	2 0.1
男性40歳未満	712 100.0	356 50.0	241 33.8	110 15.4	5 0.7	0 0.0
男性40歳以上	952 100.0	592 62.2	222 23.3	123 12.9	14 1.5	1 0.1
女性40歳未満	218 100.0	47 21.6	8 3.7	162 74.3	0 0.0	1 0.5
女性40歳以上	221 100.0	46 20.8	7 3.2	167 75.6	1 0.5	0 0.0

(3) 世帯年収

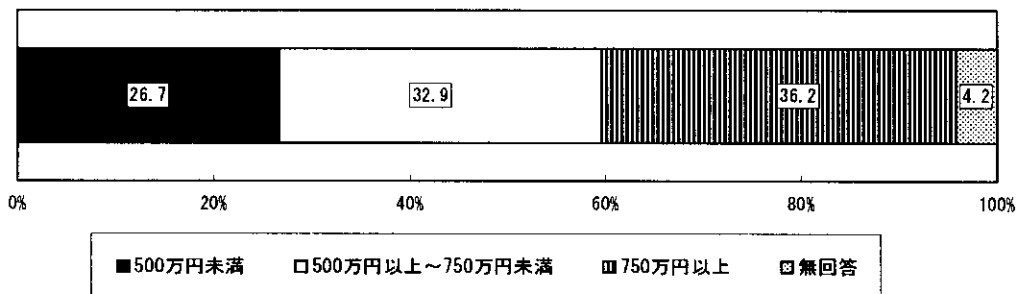
回答者の世帯年収について200万円毎にその分布をみると、400万円から599万円が506人で最も多い層となった。本調査の分析においては「500万円未満」「500万円以上750万円未満」「750万円以上」の3つのカテゴリーにまとめたものを用いた。

この所得階層でみると、「750万円以上」が36.2%で最も割合が高く、続いて「500万円以上750万円未満」が32.9%、「500万円未満」が26.7%であった。

図表4-3-43 世帯年収の分布（記入式 N=2,105）



図表4-3-44 世帯年収（記入式 N=2,105）



	合計	500万円未満	500万円以上 750万円未満	750万円以上	無回答
回答数	2,105	561	693	763	88
割合	100.0	26.7	32.9	36.2	4.2

<男女年齢別>

男女年齢別に世帯収入をみると、年齢層による傾向の違いが見られる。「男性 40 歳未満」においては「500 万円以上 750 万円未満」が 38.6%で最も高い割合となっており、「500 万円未満」が 37.6%でほぼ同じ割合を示している。「女性 40 歳未満」では「500 万円未満」が 35.3%で最も高い割合になっており、次いで「500 万円以上 750 万円未満」が 34.9%となっている。

一方、「男性 40 歳以上」では「750 万円以上」が 51.3%、「女性 40 歳以上」でも「750 万円以上」が 40.7%とそれぞれの層の中で最も高い割合になっている。

男性においては、「男性 40 歳以上」の層で世帯年収が高く、「男性 40 歳未満」の層で世帯収入が低い傾向が統計的に明らかとなっている。

女性においては、「女性 40 歳未満」で「500 万円未満」の層が統計的に多くなっており、「750 万円以上」の層が統計的に少なくなっていることがわかる。

図表4-3-45 男女年齢別 世帯年収（記入式 N=2,105）

	合計	500 万円未満	500 万円以上 750 万円未満	750 万円以上	無回答
全体	2,105 100.0	561 26.7	693 32.9	763 36.2	88 4.2
男性 40 歳未満	712 100.0	268 37.6	275 38.6	137 19.2	32 4.5
男性 40 歳以上	952 100.0	158 16.6	277 29.1	488 51.3	29 3.0
女性 40 歳未満	218 100.0	77 35.3	76 34.9	46 21.1	19 8.7
女性 40 歳以上	221 100.0	58 26.2	65 29.4	90 40.7	8 3.6

<男女年齢別 就業環境別>

世帯年収を男女年齢別、就業環境別にみると、「男性 40 歳未満」においては、「内勤中心」で「500 万円以上 750 万円未満」が 45.8%と最も高い割合になっている。「外勤中心」においては、「500 万円未満」が 44.4%で最も割合が高く、統計的にも多い。「学生・フリーター・主婦・無職」については、「500 万円未満」の割合が 37.3%で最も高いものの、「750 万円以上」の回答割合も 28.2%に達し統計的にも多い。「学生・フリーター・主婦・無職」層は収入形態も一様ではなく、様々な職種や就業形態が含まれているため、こうした結果となったことが推測される。

「男性 40 歳以上」においては、「内勤中心」で「750 万円以上」が 63.3%と最も高い割合となっており、「外勤中心」でも「750 万円以上」の層が、「500 万円以上 750 万円未満」の層とそれぞれ 44.1%で最も高い割合となり、全般的には高い世帯収入層に回答割合が高い傾向となった。ただし、「学生・フリーター・主婦・無職」については、「500 万円未満」が 65.9%と最も高い割合となっており、異なる傾向がみられる。

「女性 40 歳未満」「女性 40 歳以上」は、そのほとんどが「学生・フリーター・主婦・無職」と「内勤中心」で占められており、「外勤中心」については、明確な傾向が見ら

れない。

「女性40歳以上」では、「内勤中心」で「750万円以上」が47.8%と最も高い割合となっている。

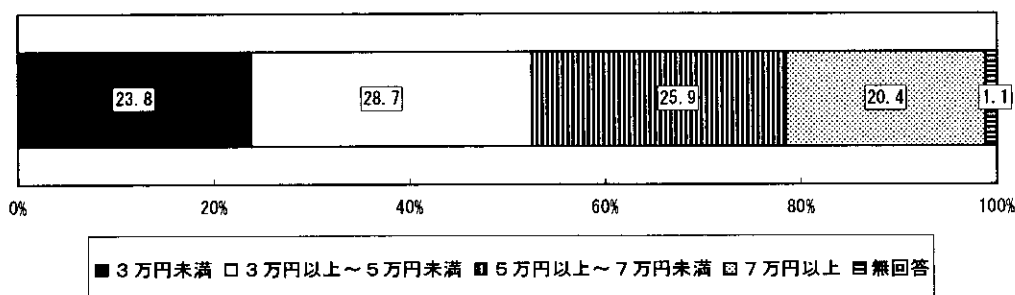
図表 4-3-46 男女年齢別 就業環境別 世帯年収 (記入式 N=2,105)

		合計	500万円未満	500万円以上750万円未満	750万円以上	無回答
全体		2,105 100.0	561 26.7	693 32.9	763 36.2	88 4.2
男性 40歳未満	男性40歳未満 全体	712 100.0	268 37.6	275 38.6	137 19.2	32 4.5
	内勤中心	356 100.0	115 32.3	163 45.8	74 20.8	4 1.1
	外勤中心	241 100.0	107 44.4	99 41.1	32 13.3	3 1.2
	学生・フリーター ・主婦・無職	110 100.0	41 37.3	13 11.8	31 28.2	25 22.7
	その他	5 100.0	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	男性 40歳以上	男性40歳以上 全体	951 100.0	158 16.6	277 29.1	488 51.3
内勤中心	592 100.0	53 9.0	142 24.0	375 63.3	22 3.7	
外勤中心	222 100.0	23 10.4	98 44.1	98 44.1	3 1.4	
学生・フリーター ・主婦・無職	123 100.0	81 65.9	30 24.4	10 8.1	2 1.6	
その他	14 100.0	1 7.1	7 50.0	5 35.7	1 7.1	
女性 40歳未満	女性40歳未満 全体	217 100.0	77 35.5	76 35.0	46 21.2	18 8.3
	内勤中心	47 100.0	20 42.6	9 19.1	15 31.9	3 6.4
	外勤中心	8 100.0	2 25.0	3 37.5	3 37.5	0 0.0
	学生・フリーター ・主婦・無職	162 100.0	55 34.0	64 39.5	28 17.3	15 9.3
	その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	女性 40歳以上	女性40歳以上 全体	221 100.0	58 26.2	65 29.4	90 40.7
内勤中心	46 100.0	8 17.4	15 32.6	22 47.8	1 2.2	
外勤中心	7 100.0	4 57.1	2 28.6	1 14.3	0 0.0	
学生・フリーター ・主婦・無職	167 100.0	46 27.5	48 28.7	66 39.5	7 4.2	
その他	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	

(4) 自分で自由に使い道が決められるお金（こづかい）の金額

回答者が「自由に使い道を決められる1か月の金額」（以下、1か月のこづかい）をみると、「3万円以上5万円未満」が28.7%で最も高く、「5万円以上7万円未満」が25.9%、「3万円未満」が23.8%、「7万円未満」が20.4%となっている。

図表4-3-47 1か月のこづかい（記入式 N=2,105）



	合計	3万円未満	3万円以上～5万円未満	5万円以上～7万円未満	7万円以上	無回答
回答数	2,105	501	604	546	430	24
割合	100.0	23.8	28.7	25.9	20.4	1.1

<男女年齢別>

1か月のこづかいを男女年齢別にみると「男性40歳未満」では「3万円以上5万円未満」が34.0%で最も高い割合となっている。一方、「男性40歳以上」ではわずかながら「5万円以上7万円未満」が34.0%で最も割合が高い。「5万円以上7万円未満」と「7万円以上」の割合を加算して比較すると、「男性40歳未満」では40.3%（21.6%、18.7%）、「男性40歳以上」では58.3%（34.0%、24.3%）となり、「男性40歳以上」の方が「男性40歳未満」よりも高額のこづかいを得ている。

女性では「女性40歳以上」で「3万円未満」が53.2%、「女性40歳以上」で「3万円未満」が48.0%となっており、それぞれの層で最も割合が高くなっている。一方、「5万円以上7万円未満」と「7万円以上」を加算した割合で見ると、「女性40歳未満」では28.9%、「女性40歳以上」では31.2%で、「男性40歳未満」の40.3%、「男性40歳以上」の58.3%と比べて、低い割合となっている。女性のこづかいは、男性に比べると全体的に低い。

図表4-3-48 男女年齢別 1か月のこづかい（記入式 N=2,105）

	合計	3万円未満	3万円以上5万円未満	5万円以上7万円未満	7万円以上	無回答
全体	2,105 100.0	501 23.8	604 28.7	546 25.9	430 20.4	24 1.1
男性 40歳未満	712 100.0	178 25.0	242 34.0	154 21.6	133 18.7	5 0.7
男性 40歳以上	952 100.0	101 10.6	286 30.0	324 34.0	231 24.3	10 1.1
女性 40歳未満	218 100.0	116 53.2	33 15.1	29 13.3	34 15.6	6 2.8
女性 40歳以上	221 100.0	106 48.0	43 19.5	38 17.2	31 14.0	3 1.4

<男女年齢別 就業環境別>

1か月のこづかいを男女年齢別就業環境別にみると、「男性 40歳未満」では「内勤中心」では「3万円以上5万円未満」が35.4%、「外勤中心」では38.2%で最も高い割合となっているが、「学生・フリーター・主婦・無職」では「3万円未満」が30.9%で最も高い割合となっている。ただし、「学生・フリーター・主婦・無職」は、「5万円以上7万円未満」（25.5%）と「7万円以上」（20.0%）を加算した割合が45.5%で、「内勤中心」や「外勤中心」よりも高い割合になっており、必ずしも、「学生・フリーター・主婦・無職」のこづかいが少額であるとはいえない。

男性 40歳以上では、「内勤中心」において「5万円以上7万円未満」が35.5%、「外勤中心」で36.9%といずれも最も高い割合になっており、「男性 40歳未満」よりもこづかいの額が高いといえる。「学生・フリーター・主婦・無職」においては「3万円未満」「3万円以上5万円未満」の回答が最も高く44.7%になっており、かつ統計的にも多い。この点は「男性 40歳未満」の場合と異なる傾向を示している。

「女性 40歳未満」全体では「3万円未満」が53.5%で最も高い割合になっているが「女性 40歳以上」でも同様の傾向がみられ、「3万円未満」が48.0%になっている。

図表4-3-49 男女年齢別 就業環境別 1か月のこづかい（記入式 N=2,105）

		合計	3万円未満	3万円以上～5万円未満	5万円以上～7万円未満	7万円以上	無回答
	全体	2,105 100.0	501 23.8	604 28.7	546 25.9	430 20.4	24 1.1
男性 40歳未満	男性40歳未満 全体	712 100.0	178 25.0	242 34.0	154 21.6	133 18.7	5 0.7
	内勤中心	356 100.0	94 26.4	126 35.4	71 19.9	64 18.0	1 0.3
	外勤中心	241 100.0	48 19.9	92 38.2	55 22.8	46 19.1	0 0.0
	学生・フリーター ・主婦・無職	110 100.0	34 30.9	22 20.0	28 25.5	22 20.0	4 3.6
	その他	5 100.0	2 40.0	2 40.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0
	男性40歳以上 全体	951 100.0	101 10.6	285 30.0	324 34.1	231 24.3	10 1.1
内勤中心	592 100.0	57 9.6	154 26.0	210 35.5	163 27.5	8 1.4	
外勤中心	222 100.0	22 9.9	74 33.3	82 36.9	43 19.4	1 0.5	
学生・フリーター ・主婦・無職	123 100.0	22 17.9	55 44.7	28 22.8	18 14.6	0 0.0	
その他	14 100.0	0 0.0	2 14.3	4 28.6	7 50.0	1 7.1	
女性 40歳未満	女性40歳未満 全体	217 100.0	116 53.5	33 15.2	29 13.4	34 15.7	5 2.3
	内勤中心	47 100.0	6 12.8	7 14.9	15 31.9	18 38.3	1 2.1
	外勤中心	8 100.0	1 12.5	1 12.5	2 25.0	4 50.0	0 0.0
	学生・フリーター ・主婦・無職	162 100.0	109 67.3	25 15.4	12 7.4	12 7.4	4 2.5
	その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	女性40歳以上 全体	221 100.0	106 48.0	43 19.5	38 17.2	31 14.0	3 1.4
内勤中心	46 100.0	14 30.4	7 15.2	11 23.9	14 30.4	0 0.0	
外勤中心	7 100.0	1 14.3	0 0.0	3 42.9	3 42.9	0 0.0	
学生・フリーター ・主婦・無職	167 100.0	91 54.5	35 21.0	24 14.4	14 8.4	3 1.8	
その他	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	

＜男女年齢別 世帯年収別＞

男女年齢別、世帯年収別にこづかいをみると、「男性 40 歳未満」では世帯年収とこづかい額は統計的な関係はみられない。「男性 40 歳以上」では、世帯収入「500 万円未満」でこづかい「3 万円以上 5 万円未満」が 48.1%と最も高く、統計的にも多い。次いで「3 万円未満」が 22.8%となっており統計的にも多い。世帯収入「500 万円以上 750 万円未満」ではこづかい「3 万円以上 5 万円未満」が 38.3%で統計的にも多く、次いで「5 万円以上 7 万円未満」が 33.2%となっており、世帯収入「500 万円未満」と異なる傾向となった。世帯収入が最も高い層である 750 万円以上」ではこづかい「5 万円以上 7 万円未満」が 39.3%で最も高く、統計的にも多い。次いでこづかい「7 万円以上」が 36.7%で統計的にも多く、世帯年収が高くなるにしたがい、こづかい額も高くなっていることがわかる。

「女性 40 歳未満」「女性 40 歳以上」では、世帯年収とこづかいの額に統計的な関係性はみられなかった。

図表4-3-50 男女年齢別 世帯年収別 1か月のこづかい（記入式 N=2,105）

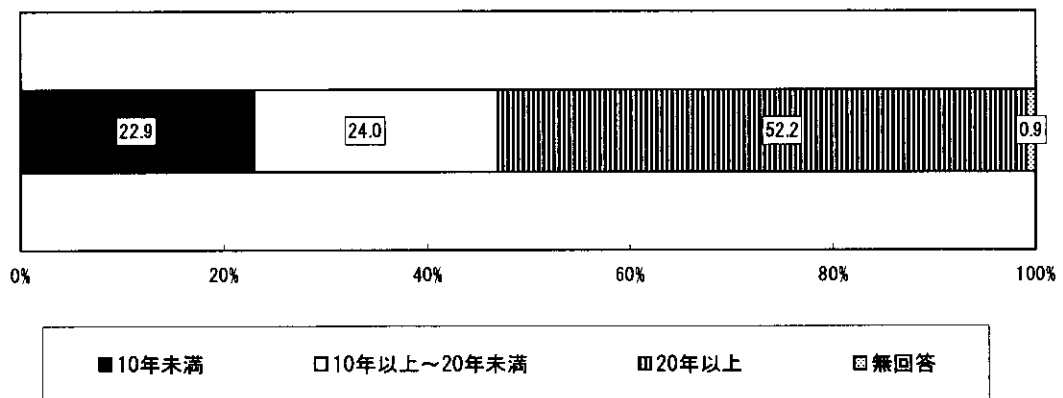
		合計	3万円未満	3万円以上～5万円未満	5万円以上～7万円未満	7万円以上	無回答
全体		2,105 100.0	501 23.8	604 28.7	546 25.9	430 20.4	24 1.1
男性 40歳未満	男性 40 歳未満 全体	680 100.0	169 24.9	236 34.7	149 21.9	125 18.4	1 0.1
	500 万円未満	268 100.0	102 38.1	60 22.4	51 19.0	55 20.5	0 0.0
	500 万円以上～ 750 万円未満	275 100.0	51 18.5	137 49.8	60 21.8	26 9.5	1 0.4
	750 万円以上	137 100.0	16 11.7	39 28.5	38 27.7	44 32.1	0 0.0
男性 40歳以上	男性 40 歳以上 全体	923 100.0	96 10.4	281 30.4	317 34.3	228 24.7	1 0.1
	500 万円未満	158 100.0	36 22.8	76 48.1	33 20.9	13 8.2	0 0.0
	500 万円以上～ 750 万円未満	277 100.0	43 15.5	106 38.3	92 33.2	36 13.0	0 0.0
	750 万円以上	488 100.0	17 3.5	99 20.3	192 39.3	179 36.7	1 0.2
女性 40歳未満	女性 40 歳未満 全体	199 100.0	112 56.3	28 14.1	27 13.6	31 15.6	1 0.5
	500 万円未満	77 100.0	46 59.7	11 14.3	13 16.9	7 9.1	0 0.0
	500 万円以上～ 750 万円未満	76 100.0	52 68.4	8 10.5	6 7.9	9 11.8	1 1.3
	750 万円以上	46 100.0	14 30.4	9 19.6	8 17.4	15 32.6	0 0.0
女性 40歳以上	女性 40 歳以上 全体	213 100.0	103 48.4	41 19.2	38 17.8	31 14.6	0 0.0
	500 万円未満	58 100.0	24 41.4	13 22.4	12 20.7	9 15.5	0 0.0
	500 万円以上～ 750 万円未満	65 100.0	41 63.1	10 15.4	8 12.3	6 9.2	0 0.0
	750 万円以上	90 100.0	38 42.2	18 20.0	18 20.0	16 17.8	0 0.0

(5) 喫煙期間

喫煙期間については、現在年齢から喫煙が習慣化した年齢を差し引くことによって算出した喫煙年数を「10年未満」「10年以上20年未満」「20年以上」の3つのカテゴリーに分類した。

全体では「20年以上」が52.2%で最も高く、「10年以上20年未満」が24.0%、「10年未満」が22.9%であった。

図表4-3-51 喫煙期間（記入式 N=2,105）



	全体	10年未満	10年以上20年未満	20年以上	無回答
回答数	2,105	483	505	1,098	19
割合	100.0	22.9	24.0	52.2	0.9

ただし、本調査で実施したグループインタビューや、厚生省「平成10年度 喫煙と健康問題に関する実態調査」、また総務庁青少年対策本部「青少年とたばこ等に関する調査研究報告書」（平成13年1月）等、多くの調査結果が未成年からの喫煙が多いことを示している（本報告書13頁参照）。このアンケート調査では、回答を他者にみられることを考えて「20歳」と回答したケースも多いことに留意する必要がある。

<参考>

	中学生		高校生		全体
	男子	女子	男子	女子	
吸ったことがある	10.7	6.4	24.4	12.2	14.3
吸ったことがない	89.3	93.6	75.6	87.8	85.7
計(人)	100%	100%	100%	100%	100%
	962	875	1,192	876	3,905

(資料) 平成13年1月総務庁青少年対策本部
「青少年とたばこ等に関する調査研究報告書」

<男女年齢別>

男女年齢別に喫煙期間をみると、「男性 40 歳未満」では「10 年未満」が 47.5%、次いで「10 年以上 20 年未満」が 47.1%となっており、全体と異なる傾向を示している。

「女性 40 歳未満」も同様に、「10 年未満」と「10 年以上 20 年未満」がそれぞれ 54.6%、43.6%となっており、全体とは異なる結果になっている。

「男性 40 歳以上」「女性 40 歳以上」で「20 年以上」の回答が多くなっているが、喫煙期間は当然に年齢と関係があることを考慮して調査結果を解釈する必要がある。

「男性 40 歳以上」の喫煙期間は「20 年以上」が 96.5%であったのに対し、「女性 40 歳以上」では 65.2%と低い割合になっており、女性の方が喫煙期間が短い傾向があることがわかる。

図表4-3-52 男女年齢別 喫煙期間（記入式 N=2,105）

	合計	10 年未 満	10 年以 上 20 年 未満	20 年以 上	無回答
全体	2,105 100.0	483 22.9	505 24.0	1,098 52.2	19 0.9
男性 40 歳未満	712 100.0	338 47.5	335 47.1	32 4.5	7 1.0
男性 40 歳以上	952 100.0	5 0.5	25 2.6	919 96.5	3 0.3
女性 40 歳未満	218 100.0	119 54.6	95 43.6	2 0.9	2 0.9
女性 40 歳以上	221 100.0	21 9.5	50 22.6	144 65.2	6 2.7

<男女年齢別 世帯年収別>

喫煙期間を男女年齢別 世帯年収別にみると、「男性 40 歳未満」では世帯年収「500 万円未満」において「10 年未満」が 54.5%、「750 万円以上」で「10 年未満」が 59.1%とそれぞれで最も高い割合になっているが、「500 万円以上 750 万円未満」においては、「10 年未満」の割合が 30.2%と低くなっており、「10 年以上 20 年未満」の割合が 62.9%と高くなっている。「男性 40 歳未満」全体と比べると、「500 万円未満」「750 万円以上」の層で異なる傾向を示していることがわかる。

「男性 40 歳以上」は、そのほとんどが「20 年以上」の喫煙者で占められており、世帯年収による影響はみられない。

「女性 40 歳未満」では、「男性 40 歳未満」と同様に、世帯年収「500 万円未満」において「10 年未満」が 58.4%、「750 万円以上」で「10 年未満」が 58.7%とそれぞれで最も高い割合になっているが、「500 万円以上 750 万円未満」においては、「10 年未満」の割合が 44.7%と低くなっており、「10 年以上 20 年未満」の割合が 55.3%と高くなっている。

図表4-3-53 男女年齢別 世帯年収別 喫煙期間（記入式 N=2,105）

		合計	10年未満	10年以上～20年未満	20年以上	無回答
全体		2,105 100.0	483 22.9	505 24.0	1,098 52.2	19 0.9
男性 40歳未満	男性40歳未満全体	680 100.0	310 45.6	332 48.8	32 4.7	6 0.9
	500万円未満	268 100.0	146 54.5	111 41.4	8 3.0	3 1.1
	500万円以上～750万円未満	275 100.0	83 30.2	173 62.9	18 6.5	1 0.4
	750万円以上	137 100.0	81 59.1	48 35.0	6 4.4	2 1.5
男性 40歳以上	男性40歳以上全体	923 100.0	4 0.4	23 2.5	893 96.7	3 0.3
	500万円未満	158 100.0	0 0.0	3 1.9	154 97.5	1 0.6
	500万円以上～750万円未満	277 100.0	0 0.0	7 2.5	269 97.1	1 0.4
	750万円以上	488 100.0	4 0.8	13 2.7	470 96.3	1 0.2
女性 40歳未満	女性40歳未満全体	199 100.0	106 53.3	89 44.7	2 1.0	2 1.0
	500万円未満	77 100.0	45 58.4	30 39.0	2 2.6	0 0.0
	500万円以上～750万円未満	76 100.0	34 44.7	42 55.3	0 0.0	0 0.0
	750万円以上	46 100.0	27 58.7	17 37.0	0 0.0	2 4.3
女性 40歳以上	女性40歳以上全体	213 100.0	19 8.9	48 22.5	141 66.2	5 2.3
	500万円未満	58 100.0	5 8.6	13 22.4	37 63.8	3 5.2
	500万円以上～750万円未満	65 100.0	5 7.7	15 23.1	43 66.2	2 3.1
	750万円以上	90 100.0	9 10.0	20 22.2	61 67.8	0 0.0

5. ニコチン依存度に関する分析

本調査では、喫煙者のニコチンへの依存度を推定するため、マーチン・ジャービス氏による依存度算出のための計算式を加工したものをを用い、回答者のニコチン依存度を算出し、「高位」「中位」「低位」とした（151頁参照）。

(1) 基本属性からみたニコチン依存度

回答者のニコチン依存度の分布をみると、全体では高位が 53.9%を占め、中位の 26.7%、低位の 17.3%を大きく上回っている。

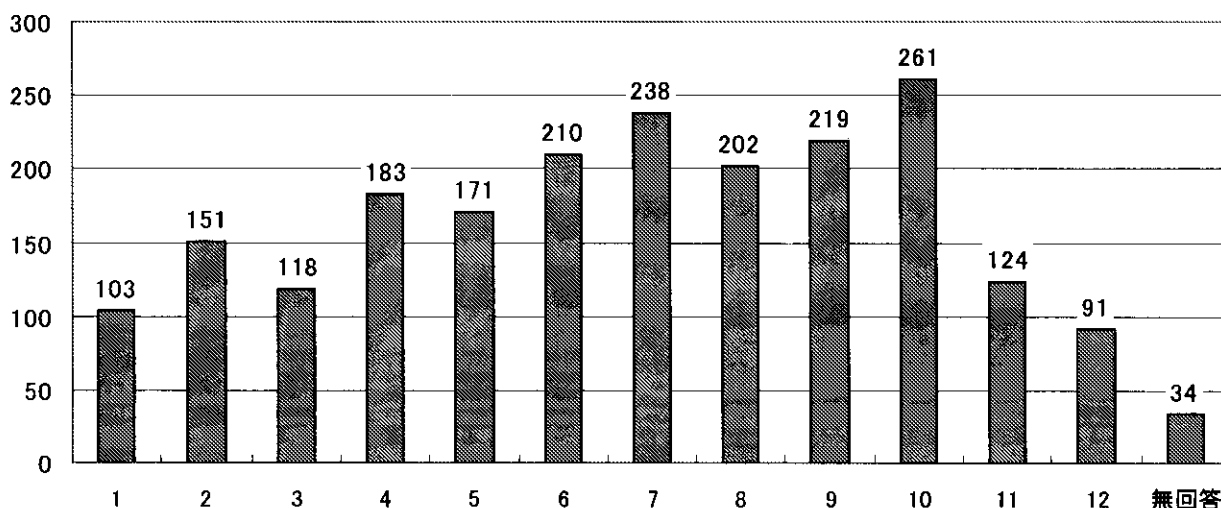
男女別のニコチン依存度の平均点数は、それぞれ、男性が 7.1 点、女性が 5.2 点となっており、厚生労働省が平成 10 年度に実施した「喫煙と健康問題に関する実態調査」の現在喫煙者の結果と比較すると、今回の調査対象の方がやや平均点が低いという結果になった。

<参考>

厚生省の「平成 10 年度 喫煙と健康問題に関する実態調査」では、現在喫煙者、前喫煙者の男女のニコチン依存度（平均点数）は以下の通りとなっている。

	現在喫煙者	前喫煙者
総数	7.7	7.2
男性	7.9	7.4
女性	6.9	5.9

図表4-3-54 ニコチン依存度分布（単数回答より算出 N=2,105）



男女年齢別にみると、すべての年齢層で「高位」の回答が最も高い割合になっている。特に、「男性 40 歳以上」においては 63.8% で女性層や「男性 40 歳未満」の層に比べ高い割合となっている。ただし、「男性 40 歳未満」では「中位」の割合が 30.3% と他の層に比べやや高くなっている。

「女性 40 歳未満」「女性 40 歳以上」においても「高位」の割合が最も高くなっているが、全体的には「低位」「中位」「高位」にほぼ均等に分布しており、女性の方が「低位」の割合が高くなる傾向を示している。

図表4-3-55 男女年齢別 ニコチン依存度（単数回答より算出 N=2,105）

	合計	低位	中位	高位	無回答
全体	2,105 100.0	364 17.3	562 26.7	1,135 53.9	44 2.1
男性 40 歳未満	712 100.0	115 16.2	216 30.3	368 51.7	13 1.8
男性 40 歳以上	952 100.0	102 10.7	224 23.5	607 63.8	19 2.0
女性 40 歳未満	218 100.0	76 34.9	59 27.1	80 36.7	3 1.4
女性 40 歳以上	221 100.0	71 32.1	63 28.5	78 35.3	9 4.1

<男女年齢別 就業環境別>

ニコチン依存度を男女年齢別、就業環境別にみると、「男性 40 歳未満」では「高位」の割合が「内勤中心」で 49.4%、「外勤中心」で 62.7%、「学生・フリーター・主婦・無職」で 35.5% となっており、それぞれの層において、最も高い割合となっている。かつ「外勤中心」の「高位」(62.7%) は、統計的にも多い。

「男性 40 歳以上」においてもすべての層で「高位」が最も高い割合になっている。特に「外勤中心」で「高位」が 73.0% と極めて高い割合となっている。一方、「内勤中心」では「高位」の割合が 61.0% と「外勤中心」に比べ低い割合になっており、「内勤中心」と「外勤中心」で差がみられた。

「女性 40 歳未満」全体では「高位」が最も高い割合となっているが、就業環境別に見ると、「内勤中心」で「低位」が 38.3% と最も高い割合になっている。また「学生・フリーター・主婦・無職」でも「低位」が 35.2% と「高位」の 38.3% と僅差になっており、特徴的である。

本調査では、喫煙環境に融通が利きやすいと考えられる「外勤中心」や「学生・フリーター・主婦・無職」の方が、終日喫煙環境を管理されている可能性の高い「内勤中心」に比べて、ニコチン依存度が高いという仮説を設定していた。以上の分析結果から、男性の「内勤中心」「外勤中心」に限っては、仮説が成立しているが、「女性」「学生・フリーター・主婦・無職」層に関しては、必ずしも喫煙環境に融通が利くと考えられる層のニコチン依存度が高いわけではないことが明らかになった。

図表4-3-56 男女年齢別 就業環境別 ニコチン依存度（単数回答より算出 N=2,105）

		合計	低位	中位	高位	無回答
全体		2,105	364	562	1,135	44
		100.0	17.3	26.7	53.9	2.1
男性 40歳未満	男性40歳未満	712	115	216	368	13
	全体	100.0	16.2	30.3	51.7	1.8
	内勤中心	356	70	107	176	3
		100.0	19.7	30.1	49.4	0.8
	外勤中心	241	19	68	151	3
		100.0	7.9	28.2	62.7	1.2
	学生・フリーター ・主婦・無職	110	26	38	39	7
		100.0	23.6	34.5	35.5	6.4
	その他	5	0	3	2	0
		100.0	0.0	60.0	40.0	0.0
男性 40歳以上	男性40歳以上	951	102	224	606	19
	全体	100.0	10.7	23.6	63.7	2.0
	内勤中心	592	72	147	361	12
		100.0	12.2	24.8	61.0	2.0
	外勤中心	222	19	37	162	4
		100.0	8.6	16.7	73.0	1.8
	学生・フリーター ・主婦・無職	123	11	37	72	3
		100.0	8.9	30.1	58.5	2.4
	その他	14	0	3	11	0
		100.0	0.0	21.4	78.6	0.0
女性 40歳未満	女性40歳未満	217	76	58	80	3
	全体	100.0	35.0	26.7	36.9	1.4
	内勤中心	47	18	13	14	2
		100.0	38.3	27.7	29.8	4.3
	外勤中心	8	1	3	4	0
		100.0	12.5	37.5	50.0	0.0
	学生・フリーター ・主婦・無職	162	57	42	62	1
		100.0	35.2	25.9	38.3	0.6
	その他	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女性 40歳以上	女性40歳以上	221	71	63	78	9
	全体	100.0	32.1	28.5	35.3	4.1
	内勤中心	46	13	11	20	2
		100.0	28.3	23.9	43.5	4.3
	外勤中心	7	0	2	4	1
		100.0	0.0	28.6	57.1	14.3
	学生・フリーター ・主婦・無職	167	58	49	54	6
		100.0	34.7	29.3	32.3	3.6
	その他	1	0	1	0	0
		100.0	0.0	100.0	0.0	0.0

(2) 喫煙期間からみたニコチン依存度

<男女年齢別 喫煙期間別>

男女年齢別、喫煙期間別にニコチン依存度をみると、「男性40歳未満」では、いずれの喫煙期間層でも「高位」が最も高い割合になっている。「10年未満」で「高位」が43.8%にとどまっているのに対し、「20年以上」では「高位」が84.4%を占めており、喫煙期間が長くなるにしたがい、ニコチン依存度が「高位」の割合が高くなっていることがわかる。

「男性 40 歳以上」では喫煙期間が「10 年未満」という回答者がほとんどみられないため傾向をみることについては慎重になる必要があるが、「10 年以上 20 年未満」においては、「高位」が 44.0%で最も割合が高く、「20 年以上」では 64.7%が「高位」となり、ここでも喫煙期間とニコチン依存度の間に関係があることがわかる。

「女性 40 歳未満」では、「10 年未満」において「低位」が 47.1%となっており、最も高い割合になっている一方で、「10 年以上 20 年未満」においては「高位」が 49.5%で最も高い割合となっている。「女性 40 歳以上」でも「10 年未満」において「低位」が 57.1%であるのに対し、「20 年以上」では「高位」が 43.8%と最も高い割合になっており、女性層においても、喫煙期間とニコチン依存度の間に関係がみられる。

図表4-3-57 男女年齢別 喫煙期間別 ニコチン依存度（単数回答 N=2,105）

		合計	低位	中位	高位	無回答
全体		2,105 100.0	364 17.3	562 26.7	1,135 53.9	44 2.1
男性 40 歳 未 満	男性 40 歳未満 全体	705 100.0	113 16.0	215 30.5	366 51.9	11 1.6
	10 年未満	338 100.0	63 18.6	118 34.9	148 43.8	9 2.7
	10 年以上～20 年未満	335 100.0	48 14.3	94 28.1	191 57.0	2 0.6
	20 年以上	32 100.0	2 6.3	3 9.4	27 84.4	0 0.0
男性 40 歳 以 上	男性 40 歳以上 全体	949 100.0	102 10.7	224 23.6	607 64.0	16 1.7
	10 年未満	5 100.0	3 60.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0
	10 年以上～20 年未満	25 100.0	4 16.0	10 40.0	11 44.0	0 0.0
	20 年以上	919 100.0	95 10.3	213 23.2	595 64.7	16 1.7
女性 40 歳 未 満	女性 40 歳未満 全体	216 100.0	76 35.2	59 27.3	80 37.0	1 0.5
	10 年未満	119 100.0	56 47.1	30 25.2	33 27.7	0 0.0
	10 年以上～20 年未満	95 100.0	20 21.1	27 28.4	47 49.5	1 1.1
	20 年以上	2 100.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0
女性 40 歳 以 上	女性 40 歳以上 全体	215 100.0	71 33.0	63 29.3	77 35.8	4 1.9
	10 年未満	21 100.0	12 57.1	4 19.0	3 14.3	2 9.5
	10 年以上～20 年未満	50 100.0	20 40.0	18 36.0	11 22.0	1 2.0
	20 年以上	144 100.0	39 27.1	41 28.5	63 43.8	1 0.7

6. 健康や禁煙への態度に関する分析

ここでは、回答者の健康や禁煙に対する考え方についての分析を行う。

(1) 罹患しやすい病気に関する理解度について

たばこを吸うことによって罹患しやすくなる病気についての理解度は、以下の方法により算出し、カテゴリー化を行った。

【罹患しやすくなる病気についての理解度算出方法】

問 16・17 の各設問における回答数を正解数と見なし、各回答者の両問での回答数を以下の3つのカテゴリーに分類した。

- *回答数 0～5 : 「0 点～5 点」
- *回答数 6～10 : 「6 点～10 点」
- *回答数 11～15 : 「11 点～15 点」

罹患しやすい病気に関する理解度では、「0 点～5 点」が 41.2%、「6 点～10 点」が 45.4%、「11 点～15 点」が 13.3%となっている。

禁煙への関心度別についてみると、「関心がない」層では「0 点～5 点」の回答が 52.6%で最も回答の割合が高く、統計的にも多くなっている。「今も禁煙に取り組んでいる」層においては、「11 点～15 点」の割合が 17.5%と高く、統計的にも多いという結果となった。禁煙に対する関心が高いほど、罹患しやすい病気に関する理解度も高いということが統計的にもいえる。

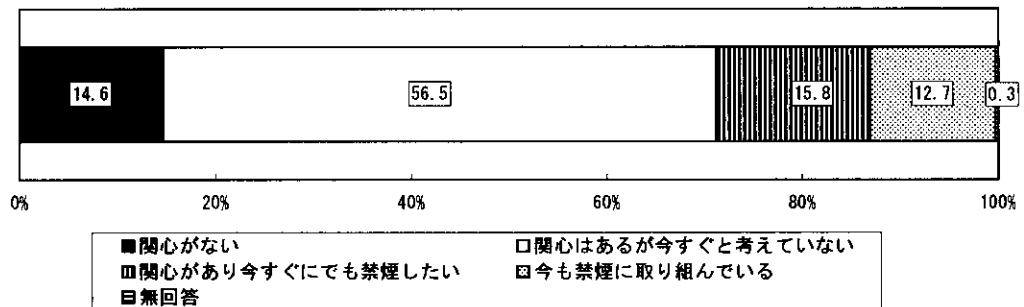
図表4-3-58 禁煙への関心度別 罹患しやすい病気に関する理解度
(複数回答より算出 N=2,105)

	合計	0 点～ 5 点	6 点～ 10 点	11 点～ 15 点	無回答
全体	2,105 100.0	868 41.2	956 45.4	281 13.3	0 0.0
関心がない	308 100.0	162 52.6	111 36.0	35 11.4	0 0.0
関心はあるが今すぐと 考えていない	1,190 100.0	509 42.8	538 45.2	143 12.0	0 0.0
関心があり今すぐにでも禁煙 したい	332 100.0	125 37.7	152 45.8	55 16.6	0 0.0
今も禁煙に取り組んでいる	268 100.0	70 26.1	151 56.3	47 17.5	0 0.0

(2) 禁煙することへの関心度

禁煙することへの関心度をみると、全体では「関心はあるが今すぐと考えていない」が 56.5%で最も割合が高く、「関心がない」という回答は、14.6%であった。「今も禁煙に取り組んでいる」としたのは、12.7%であった。

図表4-3-59 禁煙への関心度（単数回答 N=2,105）



	合計	関心がない	関心はあるが今すぐと考えていない	関心があり今すぐにも禁煙したい	今も禁煙に取り組んでいる	無回答
回答数	2,105	308	1,190	332	268	7
割合	100.0	14.6	56.5	15.8	12.7	0.3

<男女年齢別>

男女年齢別にみると、各男女年齢層で「関心はあるが今すぐとは考えていない」の回答が最も高い割合となっている。特に、「男性40歳未満」で60.4%と統計的に多く、「女性40歳以上」で統計的に少なくなっている。しかし、「女性40歳以上」の層では「関心がない」の回答割合が9.5%と低く、統計的に少ない。また「関心があり今すぐにも禁煙したい」「今も禁煙に取り組んでいる」の割合が、それぞれ23.1%、22.2%で統計的に多く、「女性40歳以上」は、禁煙に対する関心が他の層より高い。

一方「男性40歳未満」においては、「関心がない」の割合が18.7%と他の層に比べ統計的に多くなっており、「関心があり今すぐにも禁煙したい」「今も禁煙に取り組んでいる」という回答は、それぞれ10.8%と10.1%と統計的に少なく、禁煙への関心が低い層であるといえる。

図表4-3-60 男女年齢別 禁煙への関心度（単数回答 N=2,105）

	合計	関心がない	関心はあるが今すぐと考えていない	関心があり今すぐにも禁煙したい	今も禁煙に取り組んでいる	無回答
全体	2,105 100.0	308 14.6	1,190 56.5	332 15.8	268 12.7	7 0.3
男性40歳未満	712 100.0	133 18.7	430 60.4	77 10.8	72 10.1	0 0.0
男性40歳以上	952 100.0	137 14.4	552 58.0	160 16.8	102 10.7	1 0.1
女性40歳未満	218 100.0	16 7.3	112 51.4	44 20.2	44 20.2	2 0.9
女性40歳以上	221 100.0	21 9.5	96 43.4	51 23.1	49 22.2	4 1.8

<男女年齢別 就業環境別>

男女年齢別、就業環境別に禁煙への関心度をみると、「男性40歳未満」では「内勤中心」で「関心はあるが今すぐと考えていない」という回答が最も高いものの、「今も禁煙に取り組んでいる」が12.9%で全体と比べて統計的にも多く、逆に、「関心がない」という回答が14.9%で割合が低く、統計的にも少なくなっている。

「男性40歳以上」では「内勤中心」「外勤中心」で大きな差がみられない。

「女性40歳以上」では「関心がない」という回答が1名（2.2%）にとどまる一方、「関心はあるが今すぐと考えていない」が54.3%と高い割合であった。

図表4-3-61 男女年齢別 就業環境別 禁煙への関心度（単数回答 N=2,105）

		合計	関心がな い	関心はあ るが今す ぐと考え ていない	関心があ り今すぐ にでも禁 煙したい	今も禁煙 に取り組 んでいる	無回答
全体		2105 100.0	308 14.6	1190 56.5	332 15.8	268 12.7	7 0.3
男性 40 歳 未 満	全体	712 100.0	133 18.7	430 60.4	77 10.8	72 10.1	0 0.0
	内勤中心	356 100.0	53 14.9	214 60.1	43 12.1	46 12.9	0 0.0
	外勤中心	241 100.0	52 21.6	151 62.7	26 10.8	12 5.0	0 0.0
	学生・フリーター ・主婦・無職	110 100.0	25 22.7	64 58.2	7 6.4	14 12.7	0 0.0
	その他	5 100.0	3 60.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0
男性 40 歳 以 上	全体	951 100.0	137 14.4	552 58.0	159 16.7	102 10.7	1 0.1
	内勤中心	592 100.0	85 14.4	350 59.1	94 15.9	63 10.6	0 0.0
	外勤中心	222 100.0	32 14.4	136 61.3	32 14.4	22 9.9	0 0.0
	学生・フリーター ・主婦・無職	123 100.0	19 15.4	59 48.0	28 22.8	16 13.0	1 0.8
	その他	14 100.0	1 7.1	7 50.0	5 35.7	1 7.1	0 0.0
女性 40 歳 未 満	全体	217 100.0	16 7.4	111 51.2	44 20.3	44 20.3	2 0.9
	内勤中心	47 100.0	4 8.5	24 51.1	9 19.1	9 19.1	1 2.1
	外勤中心	8 100.0	0 0.0	6 75.0	2 25.0	0 0.0	0 0.0
	学生・フリーター ・主婦・無職	162 100.0	12 7.4	81 50.0	33 20.4	35 21.6	1 0.6
	その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
女性 40 歳 以 上	全体	221 100.0	21 9.5	96 43.4	51 23.1	49 22.2	4 1.8
	内勤中心	46 100.0	1 2.2	25 54.3	10 21.7	10 21.7	0 0.0
	外勤中心	7 100.0	2 28.6	4 57.1	0 0.0	1 14.3	0 0.0
	学生・フリーター ・主婦・無職	167 100.0	18 10.8	67 40.1	40 24.0	38 22.8	4 2.4
	その他	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0